

アンケートについて

令和6年7月25日

目次

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 市政アンケートの結果について（速報） | 3 ページ |
| 2 教員向けアンケートについて | 4～5 ページ |

1 市政アンケートの結果について（速報）

◆回答期間

令和6年7月1日～10日まで

◆回答数

687件

◆主な回答内容

●性別

男 195件 女 472件 回答しない 17件 その他 3件

●年代

①40代 276件 ②50代 166件 ③30代 127件 など

●子供の年代（複数回答）

①小学生 259件 ②就学前 167件 ③中学生 162件 など

●尼崎の子どもたちに特にどのように育ってほしいですか

①思いやりや優しさを持った子供 278件 ②向上心やチャレンジ精神のある子ども 174件 ③ルールやマナーを守る子供 162件 など

●あなたは尼崎の教育で力を入れるポイントは何だと考えていますか（上位3つを選択）

①豊かな心の育成・いじめ防止 447件 ②確かな学力の育成 438件 ③指導体制整備や教職員の資質向上 253件 など

●教育委員会では令和6年度向けの新規・拡充事業で下記の取組を行っています。あなたはどの事業が大切だと思いますか。（上位3つを選択）

①スクールソーシャルワーカーの体制強化 288件 ②スクールロイヤーの設置 287件 ③学校給食の食材費高騰への支援 253件 など

●教育委員会では様々な情報発信を行っていますがご存じですか

知っている 112件 知らない 575件

●あなたは生涯学習に取り組んでいますか

取り組んでいる 271件 取り組んでいない 416件

●取り組んでいる生涯学習

①教養的なもの（語学、学問など） 131件 ②仕事の上で役に立つもの 128件 ③子育てや教育に関するもの 107件 など

●自由記述意見

- 普通学級の中の困難を抱えた児童へのサポートが充実すると良いです
- 小学校はもう少し少人数クラスで、先生の目の届きやすい環境にしてほしい
- いじめは犯罪との意識が浸透してほしい

など

2 教員向けアンケートについて

◆アンケート項目（案）

基本的項目

Q1：校種 Q2：年代 Q3：職階 Q4：担任の有無 Q5：あなたは本市の教育振興基本計画を知っていますか Q6:あなたは業務にやりがいを感じていますか

Q6-2どういう時にやりがいを感じますか

- ①児童・生徒の成長が感じられたとき、②自分の仕事が評価されたとき、③自分の成長を実感した時、④クラスが1つにまとまったとき、⑤保護者からお礼・感謝されたとき
⑥同僚と協力して仕事をしているとき、⑦児童・生徒が卒業後に会いに来た時、⑧その他

個別項目（学校教育分野・市民アンケートと同内容）

Q7：あなたは尼崎の子ども達に特にどのように育ってほしいですか（1つのみ選択）

- ①思いやりや優しさを持った子供、②ルールやマナーを守る子供、③健康で活発な子供、④向上心やチャレンジ精神のある子ども、⑤その他

Q8：あなたは尼崎市の教育で力を入れるポイントは何だと考えていますか（上位3つを選んでください）

- ①確かな学力の育成（学力向上）、②豊かな心の育成・いじめ防止、③健やかな体の育成、④多様な教育ニーズへの対応、包摂性のある教育（特別支援教育、不登校対策）
⑤学校・家庭・地域の連携・協働、⑥教育DXの推進（教育分野におけるデジタル技術の活用）、⑦指導体制整備や教職員の資質向上（教員の養成、研修の充実）
⑧教育環境整備（ICT環境整備、学校施設整備など）、⑨その他

Q9：教育委員会では令和6年度向けの新規・拡充事業で下記の取組を行っています。あなたはどの事業が大切だと思いますか。（上位3つを選んでください）

- ①電子図書館を活用した読書推進事業、②学びの多様化学校の設置に向けた検討（不登校支援）、③校内サポートルーム・エリアの設置（不登校支援）
④スクールソーシャルワーカーの体制強化（支援が必要な子どもの早期発見・支援による困難化・重大化予防）、⑤スクールロイヤーの設置（いじめ防止）
⑥尼崎歴史探検（AMATAN）事業（地元への誇りと愛着の育成）、⑦学校給食の食材費高騰への支援、⑧エレベーターの設置（中学校バリアフリー化推進事業）
⑨地域クラブ活動の推進（部活の地域移行）、⑩デジタル採点システムの導入（テストの採点支援システム）、⑪GIGAスクール構想のさらなる推進（教育環境の整備）
⑫読書を通じたまちじゅう学び事業（読書を通じた学びの充実）、⑬健康ふれあい体育館整備事業（大庄西中学校跡地の整備）
⑭旧尼崎紡績本社事務所の敷地整備の実施（市民の多様な学び）

2 教員向けアンケートについて

個別項目（教員の働き方）

Q10：1月あたりの平均的な超勤時間は

- ①10時間未満、②10～15時間未満、③15～20時間未満、④20～25時間未満、⑤25～30時間未満、⑥30～35時間未満、⑦35～40時間未満、
⑧40～45時間未満、⑨45～50時間未満、⑩50～55時間未満、⑪55～60時間未満、⑫60時間以上

Q11：あなたは働き方改革に取り組まれていますか

- ①取り組んでいる、②やや取り組んでいる、③あまり取り組んでいない、④取り組んでいない

Q11-2：あなたの学校園は働き方改革に前向きですか

- ①前向きに取り組んでいる、②やや前向きに取り組んでいる、③あまり前向きに取り組んでいない、④前向きに取り組んでいない

Q11-3：働き方改革を行うにあたって、どういう取組を行えばいいと思われますか（複数選択）

- ①ICTのさらなる活用、②学校行事の見直し、③職員会議等の見直し、④保護者対応の見直し、⑤業務分担の見直し、⑥その他

教育委員会では、働き方改革に資するため下記取組を行っていますが、効果を感じておられますか

Q12-1：スクールサポートスタッフの配置

- ①効果があった、②やや効果があった、③あまり効果がなかった、④効果がなかった、⑤わからない

Q12-2：自動音声応答システムの導入

- ①効果があった、②やや効果があった、③あまり効果がなかった、④効果がなかった、⑤わからない

Q12-3：出退勤システムの導入

- ①効果があった、②やや効果があった、③あまり効果がなかった、④効果がなかった、⑤わからない

全体を通じて

Q13：その他ご意見等がございましたらご自由にご記入ください